

## 第5回 江東未来会議

(第3分科会：健康・福祉分野)

### 次 第

日時:平成19年12月18日(火) 午後7時00分～9時00分

場所:江東区文化センター6階 第1・2会議室

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ  
    テーマ：第3分科会としての論点の整理
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 第5回の進行について
- 江東未来会議第4回討議結果
- 江東未来会議第3分科会第5回検討資料
- 江東未来会議提言書の作成に向けた今後の進め方について
- 江東未来会議提言書の構成(案)

## 江東未来会議 第3分科会「健康・福祉」

## 第5回の進行について(案)

## 1. 検討の内容

- ・12月10日に実施した幹事会の成果を踏まえて、第3分科会としての論点について整理し、「将来像・ありたい姿」や「取り組みのアイデア」等の内容について補足するとともに、分科会全体での合意形成を図ります。

## 2. 本日の進行スケジュール(時間配分の目安)

## ■検討の方法

- ・今回は分科会による全体討議を行います。
- ・皆様一人ひとりに幹事会の成果を検討していただいた上で、意見をポストイットに記入し、発表していただきます。

## ■進行スケジュール

時間表	検討項目	検討内容
19:00~19:05	開会；議事次第説明	事務局より、議事次第の説明、配布資料の確認、
19:05~19:10	第5回の進行スケジュールの確認と前回および幹事会の振り返り	コーディネーターより、本日の議論の内容とスケジュールを確認し、前回の振り返りと幹事会の説明をする。
19:10~20:00	全体討議①	前回の各グループの意見を、幹事会で整理しまとめたたたき台について、幹事会より説明し、全体で質疑、意見などを出し合う。
20:00~20:10	休憩	
20:10~20:50	全体討議②	出された意見などをもとに、全体で議論し、まとめを行う。
20:50~20:55	まとめの確認	全体でまとめを確認する。
20:55~21:00	次回の日程確認	次回以降の日程確認
21:00	閉会	

## 2. ワークショップの進め方

## ■全体討議①

テーブルに用意した幹事会のまとめ案を各自で検討し、質問、意見などをポストイットに書き込み、発表します。意見は補足、修正のほか、新しいアイデアなども加えます。

## ■全体討議②

出された質問、意見などについて、全体で議論し、前書き、テーマ、現状と課題、将来像・ありたい姿、実現のための取り組みについて、まとめを行い、確定していきます。また、残された問題、課題があれば確認します。

第4回 江東未来会議 第3分科会(健康・福祉分野) 討議結果

現状課題

横社会の意識が強い  
縦社会が弱い  
孤老生活者への対応がさ  
れていない  
個人情報扱いがメディアご  
と違っている。統一化、各特質  
化する。

個人情報保護法の徹底により  
隣近所の情報が薄れてきてい  
る

総合医療機関が区内に極  
めて少ない  
個人医療機関の医者が高  
齢化しつつある  
特養ホームなど介護施設  
入居待機者が多い。1年  
以上待たないと入れない

病院が縮小されたり廃院に  
なる傾向にあるように思う。  
公共的なものを入れてほし  
い  
介護保険の切り捨てが始  
まっているように感じる  
現在の制度では事業所も悪  
いことをしなければ赤字と  
書が必要  
ヘルパーさんの収入待遇が  
悪い

施設及び介護従事  
者の不足が原因  
区内に介護用入院  
施設が少ない

情報のバリアの低さ  
・視覚障がい  
・聴覚障がい  
・外国人 etc

緊急時は情報が掴み  
にくい

施設利用料が高騰して  
いる

バリアフリー

コミュニケーションが基となっ  
ている

コミュニティ

地域(町内会)だけでなく、  
それぞれの地域での  
ネットワークが欲しい

将来像ありたい姿

地域の連帯感(意識)を高める  
下町愁傷の再構成  
学校を核にした地域コミュニティの確立  
地域社会の団体(町会等)が要援助者  
を把握して、常に気をつける

医療力の向上  
技術面だけではなく多様なコ  
ミュニケーションの向上  
安心して受診・治療できる事  
(音声によるコミュニケーション  
だけに限らず)  
江東区に介護用入院施設を  
多くする

総合病院の中でのコミュニ  
ティの充実  
(患者という立場だけでなく、  
ポランティア活動、情報  
交換などできる)

障害の特性に応  
じた情報提供の  
あり方の充実  
フリー化

障害当事者の参  
加の上で進めら  
れたバリアフリー  
具現化  
音声のみではなく色々なコミュニケー  
ション方法が取れる環境

コミュニケーションの低  
さ  
・医療  
・介護  
・コミュニティ

犯罪の増加  
ニート、フリーターの増  
加  
少子化の加速の現状

今後の取り組み

・経験智の活用  
社会貢献活動を進め  
る  
高齢者の社会活動参  
加を促進する  
ボランティアの育成

医科系大学付属病棟の誘致  
(入院できるもの)  
医療従事者・ヘルパーの  
数、質の充実  
社協の実施しているホー  
ムヘルパー養成講座を拡  
大する

奨学金制度など設けて江  
東区在住の人材を育成す  
る

介護福祉士の養成  
区立特養ホームの建設  
区内に養成校を誘致

高齢者の健康や痴呆症防止  
の対策の充実  
スポーツセンター等

区の施設に対する高令者入場無料化により健康に  
役立つ。(外出しやすくなる)  
後期高齢者医療制度(H20.4月)負担見直し。  
国保との関連性を。

その他

発災後外人や意思を通える不能な人への対策  
多様なコミュニケーション  
・精神面の福祉  
・少子化の解決や犯罪  
減の解決

交通バリア  
フリー

総合病院内に  
医療相談以外  
の窓口を設置  
義務教育の時  
から体験を義務  
化(手当から介  
護ボランティア)

ネットカフェ難民・  
ホームレスが増え  
ている

ネットカフェ難民・  
ホームレスが増え  
ている

交通バリアフ  
リーパス

後期高齢者医療制度(H20.4月)負担見直し。  
国保との関連性を。

Aグループ

現状課題

介護家族の横のつながりが必要  
ヘルパーの給与水準が低下している  
江東区は高齢者の比率が高くなる割にそれに対する施策がない  
高齢者施設が不足している  
成年後見制度のPR不足  
正しい老い支度  
悪徳医療機関が多い

論点1-1:体  
介護保険が、より有意義な生活を営む為に、より使いやすく、広まっている。

論点1-2:心  
いろいろな仲間と気持ち良く過ごせる地域になっている

論点1-3:さいふ  
(経済問題)  
安定・安心した生活ができる

Bグループ

将来像ありたい姿

医療機関のたらいまわしなくしたい  
成年後見制度の理解者が多くなっている  
現在、縦割りの保険・医療・福祉等の行政の仕組みが、統合され横の連絡が良くなっている  
ヘルパーの労働条件が改善され、ヘルパーが増えている  
老人らしからぬ生き方を  
日常生活を支える福祉サービスの提供  
引きこもりがちな高齢者を表へ出してゲーム、健康維持、向上に役立つように、ボランティアの人を活用して、健康寿命アップにつなげたい  
悪徳医療機関がなくなる

ボランティアの活用  
地域のみの助け合い精神の醸成  
高齢者の医療費負担額の低減  
資産、収入に応じた負担をする  
高齢者の雇用場所の確保  
ボランティア等、高齢者が活動できるところの確保

高齢になっても衣・食・住に支障がない  
高齢者に対する医療費支援がなされている  
情報弱者を対象にした情報伝達が良好となっている  
(年金、医療費、etc)

今後の取り組み

介護予防事業のPR普及  
相談窓口を広くする  
要介護予防や老年症候群(転倒・低栄養症・口腔ケア・失禁etc.)の予防  
介護保険制度の高度化  
老人の医療機関検診を集団検診化  
利用できる制度を個人個人に知らせること  
特養ホームへの入居者が少なくなる(健康なお年寄りの増加)  
「後居人」養成講座が常に開催されている  
高齢者施設が充実し増加している  
縦割りから「統合」への検討(オンブズマンの導入)

日常生活にうるおいを与えるイベントの企画  
健康イベントの開催  
憩い施設の設定  
地域(身近な)ネットワークの充実化  
悪徳医療機関の公表  
ボランティアの活用  
地域のみの助け合い精神の醸成  
高齢者の医療費負担額の低減  
資産、収入に応じた負担をする  
高齢者の雇用場所の確保  
ボランティア等、高齢者が活動できるところの確保

高齢者の医療費負担額の低減  
資産、収入に応じた負担をする  
高齢者の雇用場所の確保  
ボランティア等、高齢者が活動できるところの確保

現状・課題	将来像・ありたい姿	今後の取り組み
<p>論点1: 高齢者が自立した生活を送る</p> <p>与えるというのではなく(主体者に)自立・自助の障害を取り除く 社会参加の保証</p> <p>認知症が増えていく。不安である。1人暮らしの場合は特に。</p> <p>自立を支えるための収入が必要＝働く機会</p>	<p>身体<small>の健康</small></p>	<p>高令者委員会の設置 区の政策に意見を上げる</p> <p>高令者のグループホームの建設 独り暮らしや認知症もふえているのでグループの助け合いで</p> <p>高齢者の共同住宅</p> <p>1人暮らしの人、グループで生活する</p>
<p>老々介護の現状と知恵</p> <p>老々介護で共倒れ</p> <p>老々介護を支える知恵・仕組みがない</p>	<p>心の健康</p> <p>高齢者として社会にとって役割を持てる＝社会参加</p> <p>自分の趣味とか、これまでやってきたことが役立つ環境</p>	<p>働くところを与える</p> <p>学ぶ機会・場を増やす</p> <p>高齢者の持っているものを生かす。指導者を養成</p> <p>勉学の機会を与える</p> <p>高令者の生涯学習の普及</p>
<p>論点2: 高齢者の生きがい</p> <p>高齢者はヒマがあるが金銭的に余裕なし。 ヒマは学びたい人多し</p> <p>学びたいが、その費用が高い</p> <p>認知症にならないように元気に学ぶ必要がある</p>	<p>ハコモノだけではなく運営などのソフトが充実</p> <p>老後の健康維持 快適な生活ができる 施設<small>の拡充</small></p> <p>高齢になるとリハビリをすることによって機能が向上する 場合が多いと思う。 リハビリ施設の充実を!</p>	<p>近頃家族だけで火葬場だけです。多いという事で理田はいろいろあると思いますが、10年後は確実に増えると思うので、ぜひ実現を!</p>
<p>論点3: 安心して住める街づくり</p> <p>火葬場を区内に。 他区にたらい回しされて、火葬するまで費用がかかる。安心できない。</p> <p>1人暮らし高齢者のサポート</p>	<p>適正な価格で医療サービスが受けられる公立病院の拡充</p> <p>＜病院の体制＞ 私人としては救急車は使わないようにしている すぐ急患を受入れる病院へは行きたくない</p>	<p>現在都議の柿沢未途氏が 江東区・墨田区・江戸川区の合併構想を出しているが 江東区はどうか りなのか</p>
<p>その他</p>	<p>江東区は23区の中で医師の数が少ないようですが、人口急増地域なので、心配です。 ぜひ公立の病院を建設してほしい</p>	<p>＜人にやさしい街づくり＞ 犯罪を少なくすることが最も必要だと思う</p> <p>＜災害時・その他＞ 大地震が起きた時は、寿命が尽きたとあきらめる</p>
<p>CGグループ</p>		

テーマ: 医療・介護の充実

現状・課題

医療従事者の不足

江東区は23区の中で医師の数が少ないようですが、人口急増地域なので、心配です。ぜひ公立の病院を建設してほしい

医療施設等充実

技術面だけではなく多様なコミュニケーションの向上  
安心して受診・治療できる事(音声によるコミュニケーションだけに限らず)  
総合病院の中でのコミュニケーションの充実  
(患者という立場だけでなく、ボランティア活動、情報交換などできる)  
悪徳医療機関がなくなる

人材育成

奨学金制度など設けて江東区在住の人材を育成する  
義務教育の時から体験を義務化(手当から介護ボランティア)  
災害時の医療制度充実  
多様なコミュニケーション・精神面の福祉・少子化の解決や犯罪減の解決

今後の取組み

介護福祉士の養成  
区立特養ホームの建設  
区内に養成校を誘致  
社協の実施しているホームヘルパー養成講座を拡大する  
高度医療機関誘致  
医科系大学付属病院の誘致(入院できるもの)  
受けやすい医療  
総合病院内に医療相談以外の窓口を設置  
悪徳医療機関の公表  
介護保険制度  
利用できる制度を個人個人に知らせること  
介護保険制度の高度化

組織体制

縦割りから「統合」への検討(オンプラズマンの導入)

相談体制

相談窓口を広くする  
高齢者・福祉施設充実  
老後の健康維持  
快適な生活ができる施設の拡充  
高齢になるよりリハビリをすることによって機能が向上するケースが多いと思う。リハビリ施設の充実を!

火葬場

「後見人」養成講座が常に開催されている

近頃家族だけで火葬場だけで済みますことが多いということでも理由はいろいろあると思いますが、10年後は確実に増えると思うので、ぜひ実現を!

福来庫・お祝い金

医療施設等充実  
医療力の向上  
医療従事者・ヘルパーの教、質の充実  
医療機関のたらいまわしがなくなっている  
適正な価格で医療サービスが受けられる公立病院の拡充

介護施設

江東区に介護用入院施設が多い  
介護保険制度  
在宅介護支援がさらに充実する

福祉政策充実

ゆりかごから墓場までの実現  
高齢者のニーズに対応したサービスや予算措置がある  
高齢者・福祉施設充実  
高齢者施設が充実し増加している  
特養ホームへの入所が容易となる

成年後見制度

現在、縦割りの保険・医療・福祉等の行政の仕組みが、統合され横の連絡が良くなっている  
成年後見制度の理解者が多くなっている  
ヘルパーの労働条件が改善され、ヘルパーが増えている

医療機関不足等

総合医療機関が区内に極めて少ない

個人医療機関の医師が高齢化しつつある

病院が縮小されたり廃院になる傾向にあるように思う。公共的なものを入れてほしい

悪徳医療機関が多い

介護施設・従事者の不足等  
特養ホームなど介護施設入居待機者が多い。1年以上待たないと入れない

区内に介護用入院施設が少ない

ヘルパーの給与水準が低下している  
ヘルパーさんの収入待遇が悪い  
施設及び介護従事者の不足  
介護サービス充実  
1人暮らし高齢者のサポート  
介護ニーズに基づいたサービスを受けられるようにする  
介護家族の横のつながりが必要

介護保険制度

介護保険の切り捨てが始まっているように感じる  
現在の制度では事業所も悪いことしなければ赤字となってしまふ。制度事態の改善が必要

福祉政策全般

江東区は高齢者の比率が高くなる割にそれに対する施策がない  
高齢者の不安を解決する仕組みが整っていない  
成年後見制度  
成年後見制度の理解者が少ない

江東区による医療施設の充実と医療従事者の育成制度を作る

介護保険が、より有意義な生活を営む為に、より使いやすく、拡まっている。

安心して住める街づくり

テーマ: 老若共同参画社会の推進

現状・課題

地域との関係(コミュニティ)の崩壊

構社会の意識が強い  
郷社会が弱い

個人情報保護法の徹底により隣近所の情報が薄れてきている

地域(町内会)だけでなく、それぞれ地域でのネットワークが欲しい

孤老生活者への対応がされていない

個人情報の扱いがメディアアゴと違っている。統一化、各特質化する。

コミュニケーションの低下  
・医療  
・介護  
・コミュニティ

地域での社会参加・助け合い

高齢者の閉じこもり

閉じこもり高齢者が始めている

つれあいに先立たれるとつきあいが少なくなる

正しい老い支度  
狡猾老人にならぬような教育

老老介護

老々介護で共倒れ

老々介護を支える知恵・仕組みがない

活動的な高齢者

老人らしからぬ生き方を

引きこもりがちな高齢者を表へ出してゲーム、健康維持、向上に役立つように、ボランティアの人を活用して、健康寿命アップにつなげたい

高齢者の学習機会の不足

高齢者はヒマがあるが金銭的に余裕なし。ヒマは学びたい人多し

学びたいが、その費用が高い

高齢者の社会参加

学びたいが、その機会・場が少ない

認知症にならないように元気に学ぶ必要がある

高齢者の社会参加

心の健康

自分の趣味とか、これまでやってきたことが役立つ環境

高齢者として社会に役立つ役割を持つてゐる＝社会参加

将来像・おぼろい姿

地域のつながり

地域の連帯感(意識)を高める

学校を核にした地域コミュニティの確立

下町彩(かつての下町の姿)が再構成されている

地域福祉

地域社会の団体(町会等)が要援助者を把握して、常に気をつけている

今後の取り組み

地域コミュニティ育成

横社会だけでなく縦社会の推進を強める

地域(身近な)ネットワークの充実化

地域福祉の担い手

ボランティアの育成

社会貢献活動を進める

社会参加促進

高齢者の社会活動参加を促進する

・経験者の活用

高齢者の持っているものを生かす。指導者を養成

働くところを与える

ボランティア等、高齢者が活動できるところの確保

高齢者支援体制

ボランティアの活用  
地域ぐるみの助け合い精神の醸成

在宅介護の支援

日常生活を支える福祉サービスの提供

高齢者の交流の機会づくり

日常生活にうるおいを与えるイベントの企画

健康イベントの開催

憩い施設の設置

学習機会の提供

高齢者の生涯学習の普及

勉学の機会を与える

学ぶ機会・場を増やす

いろいろな仲間と気持ち良く過ごせる地域になっている

高齢者の生きがい

テーマ:高齢者・障害者の自立支援(バリアフリー、健康、生活基盤等)

区の高齢者・障害者の活動を促進する環境づくり及びバリアフリー化を実現する

安定・安心した生活ができる

高齢者が自立した生活を送る

現状・課題

**情報のバリアフリー**

- 情報のバリアの低さ
  - ・視覚障がい
  - ・聴覚障がい
  - ・外国人 etc
- 情報弱者(=高齢者)が多い

**居住環境**

- 高齢者の居住
  - 年金の手取り額が目減りしている
  - 年金生活のため、未払いが発生する。

**負担の軽減**

- 医療費が高くなっていく
- 施設利用料が高騰している

**介護予防**

- 介護予防が進んでいない
- 介護知識の普及

**高齢者雇用**

- 自立を支えるための収入が必要=働く機会

**自助努力の支援**

- 与えるというのではなく(主体者に)自立・自助の障害を取り除く
- 社会参加の保証

将来像・おきたい姿

**情報**

- 障害の特性に応じた情報提供のあり方の充実
- 音声のみではなく色々なコミュニケーション方法が取れる環境
- バリアフリー
  - 道路、公共施設の早急なバリアフリー化

**住宅**

- 住宅不安のないこと
- 住宅になっても衣・食・住に支障がない

**負担軽減**

- 交通機関や施設を気軽に利用できる
- 介護保険負担の低減
- 高齢者に対する医療費支援がなされている

**介護予防の充実**

- 特養ホームへの入居者が少なくなる(健康なお年寄りの増加)

**健康**

- 身体健康

今後の取り組み

**情報のバリアフリー**

- 情報弱者も対象とした情報伝達システムの確立

**アクセスバリアフリー**

- 近隣へのアクセス・利用の幅を広げる
- 交通バリアフリーバス
- 江東区内のバリアフリー化が進んでいる

**負担の軽減**

- 後期高齢者医療制度(H20.4月)負担見直し。国保との関連性を。
- 交通機関が安くて利用しやすい(区内循環型)
- 高齢者の医療費負担額の低減
- 資産、収入に応じた負担をする

**生活基盤**

- 高齢者共同住宅
- 高齢者の共同住宅
- 1人暮らしの人、グループで生活する
- 高齢者のグループホームの建設
- 独り暮らしや認知症もふえいているのでグループの助け合いで

**最低生活水準の保証**

**介護予防・健康づくり**

- 介護予防事業のPR普及
- ・要介護予防や老年症候群(転倒・低栄養症・口腔ケア・失禁etc.)の予防
- 高齢者の健康や痴呆症防止の対策の充実(A)

**その他**

- 高齢者委員会の設置
- 区の政策に意見を上げる
- 雇用確保
- 高齢者の雇用場所の確保

**老人の医療機関検診を集団検診化**

- スポーツセンター等
- 区の施設に対する高齢者入場無料化により健康に役立つ。(外出しやすくなる)(A)



テーマ:その他としてとりまとめられたもの

Aグループ

バリアフリー(※)  
コミュニケーションが基  
になっている

コミュニティー  
犯罪の増加  
ニート、フリーターの増加  
少子化の加速の現状  
発災後外国人や意思を通え  
る不十分な人への対策  
ネットカフェ難民・  
ホームレスが増えている

Cグループ

<人にやさしい街づくり>  
犯罪を少なくすることが最も  
必要だと思う

<災害時・その他>  
大地震が起きた時は、寿命  
が尽きたとあきらめる

現在都議の柿沢未途氏が江  
東区・墨田区・江戸川区の合  
併構想を出しているが江東  
区はどうか対応するつもりな  
か

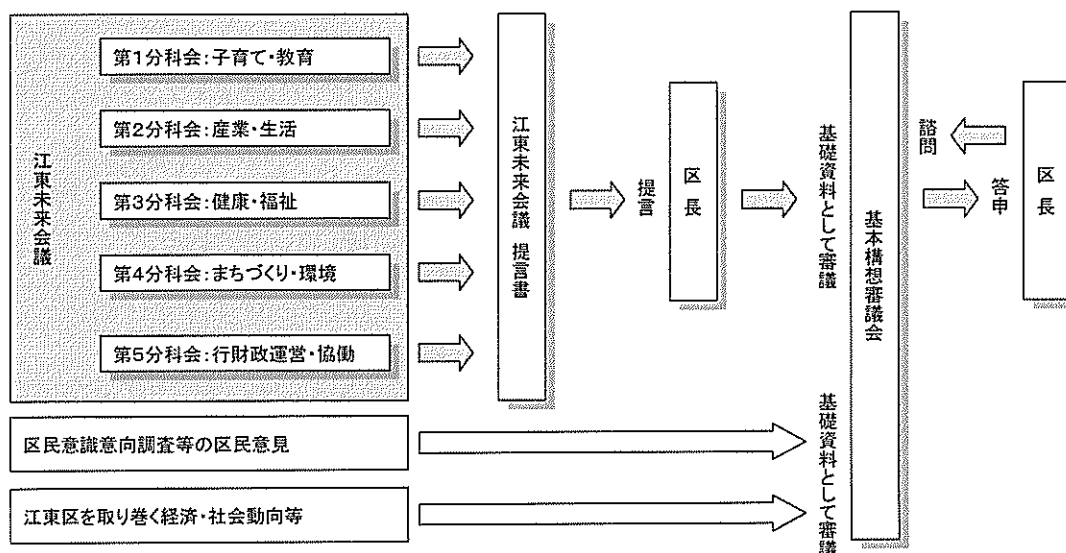
# 江東未来会議提言書の作成に向けた 今後の進め方について

## 1. 江東未来会議提言書について

### (1) 江東未来会議提言書の位置づけ

- 江東未来会議提言書（以下「提言書」）は、江東区基本構想審議会で審議する際の基礎資料の1つとして、江東区の望ましい将来像とその実現のための取り組みについて、全区的な観点から実現可能性や優先性などを意識し、区民の視点から具体性のある提案を行うために作成するものです。

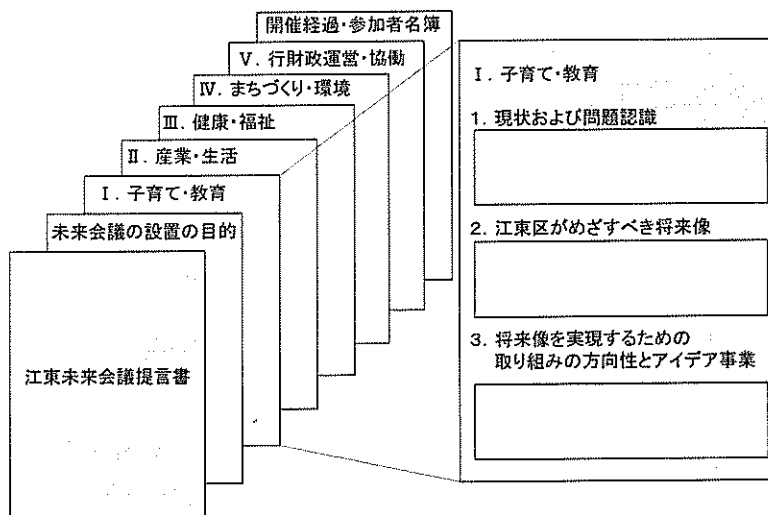
図1 江東未来会議の位置づけ（第1回会議資料再掲）



### (2) 提言書の構成

- 提言書は、各分科会の検討対象分野に沿った5つの分野で構成します。
- 各分野の内容は、「現状および問題認識」「江東区がめざすべき将来像」「将来像を実現するための取り組みの方向性とアイデア事業」の3つの共通項目に沿って、各分科会におけるこれまでの検討結果をもとに整理したものとします。

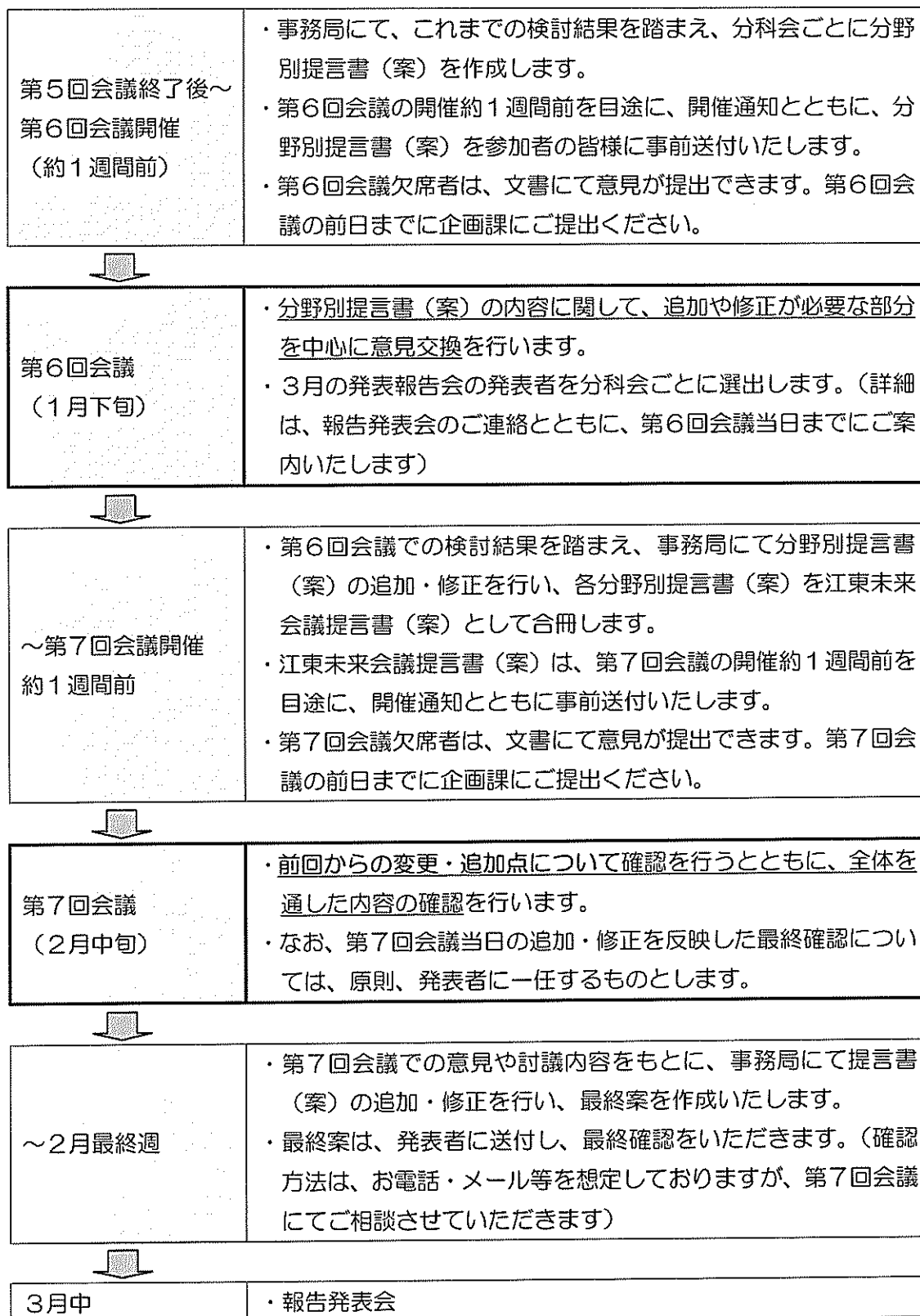
図2 提言書の構成イメージ（詳細別紙参照）



## 2. 提言書の内容確認の流れ

- ・ 提言書の内容は、以下の流れに沿って、分科会ごとに確認をいただきます。
- ・ 第7回会議終了後3月中に、提言書を広く区民に発表し周知することを目的として、報告発表会を開催します。（※報告発表会の詳細については、第6回会議までにご案内いたします）

図3 提言書の内容確認の流れ



# 江東未来会議提言書の構成（案）

## <分野別部分>

### II. 産業・生活分野

#### 1. 現状および問題認識

##### (1) 産業・消費生活

###### ■区内における区民の消費活動が少ない

- ・区民は、銀座や日本橋など区外で消費していることが多くなっている。
- ・

###### ■

##### (2) コミュニティ

###### ■世代間のコミュニケーションの場が必要

- ・
- ・

##### (3) 文化・観光

###### ■歴史ある下町と臨海部の新しいまちがある

- ・
- ・

現状および問題認識に関する論点整理結果（これまでの討議結果資料を想定）を図として適宜掲載

将来像に対応する3つ程度のテーマ毎に作成

内容を端的に目出し

これまでの検討成果のうち、現状認識（よい点／悪い点）、課題等を、箇条書きで表現

## 2. 江東区が目指すべき将来像

「～まち」で表現を統一  
(提言の冒頭に将来像の一覧  
整理を掲載します)

### (1) ～なまち

～なまち

将来像の内容を5～10行  
の文章で説明

### (2) ～できるまち

～できるまち

### (3) ～のまち

～のまち

将来像に関する論点整  
理結果(これまでの討議  
結果資料を想定)を図と  
して適宜掲載

### 3. 将来像の実現に向けた取り組みの方向性とアイデア事業

#### (1) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

<input type="checkbox"/> ~を進めます
<input type="checkbox"/> ~に努めます
<input type="checkbox"/> ~を図ります
<input type="checkbox"/> ~

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取り組みの方向性の内容を  
5~10行の文章で説明

##### ②実現に向けたアイデア事業

<〇〇事業>

将来像の実現に向けたアイデア事業の概要（取り組み主体・取り組み内容・ねらい等）を表現します。全くの新規アイデアから既存事業の見直しまで、対象も地域コミュニティレベルから、区外を対象とした大規模なキャンペーンまで、多岐・広範に及ぶことが想定されるため、表現の様式は各部会・各将来像自由とします。ただし、全体のバランスを考慮し、各将来像で最大1頁以内に収めるものとします。

#### (2) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業

#### (3) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業